

教授挨拶

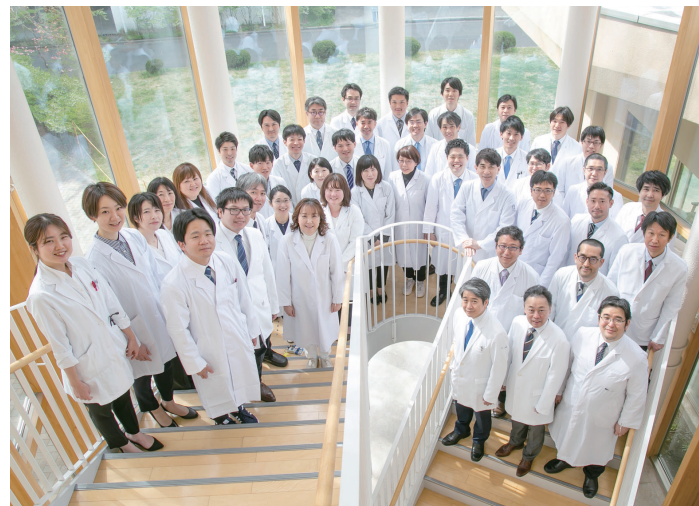
東北大学病院循環器内科 安田 聡



平素大変御世話になりありがとうございます。さて、4月から東北大学循環器内科でも新入医局員を迎え2023年新体制がスタートしました。「虚血グループ」「心不全グループ」「不整脈グループ」「肺循環グループ」の4診療グループが各種心疾患に対して専門的かつ高度な診療を行っています。当科では、幅広い診断・治療（薬物療法、カテーテル治療、医療器械を用いた治療、移植治療など）行っており、是非お気軽にご相談ください。また本年より、「心不全地域医療連携寄附講座」を新たに開講いたしました。国民病ともいえる心不全は基幹病院のみで診る時代から地域で支える時代へと転換期を迎えています。遠隔モニタリングや、PHR：パーソナルヘルスレコードを活用した在宅管理へのニーズも高まっています。高齢化が進む宮城県において、東北大学を中心とした関連病院ネットワークを基礎として心不全症例のデータ収集と共に本邦での新たな心不全診療モデル構築を目

指して参ります。

本年度も東北大学循環器内科をどうぞよろしくお願いたします。



外来患者紹介のお願い

HEARTを御覧の先生方、いつも症例のご紹介をいただきまして誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症蔓延の状況下では、新型コロナウイルス感染重症症例管理のため当院での症例受け入れに制限が生じてしまいました。現在当院では急患の受け入れ体制を含め、コロナウイルス

蔓延以前の病院機能を回復しております。これまで同様、緊急性のある症例、精査加療の必要な症例はもちろん、治療適応に迷われる症例のご相談を含めいつでもお気軽にご紹介ください。具体的には、下記のような症例、目的のご紹介をぜひお願い申し上げます。

- ・ 高血圧、糖尿病、脂質異常症、肥満、睡眠時無呼吸症候群などリスクを有する症例のスクリーニング
- ・ 胸痛や動悸の有症候例、心雑音、心電図異常、BNPやNT-pro BNP高値例の精査目的
(目安：BNP \geq 100pg/ml, NT-pro BNP \geq 400pg/ml)
- ・ 冠動脈疾患、弁膜症、心房細動、心不全、脳梗塞既往 などの心精査、薬剤調整
- ・ 膠原病、肝硬変、間質性肺炎を有する労作時息切れの精査目的
- ・ 原因不明の安静時低酸素血症(SpO₂<95%)の精査目的

お急ぎの症例のご連絡、あるいは直接当科医師とのお話が必要な内容であれば、
本紙面下部に記載の「循環器内科急患ホットライン 080-2801-1810」にご連絡ください。
何卒よろしくお願い申し上げます。

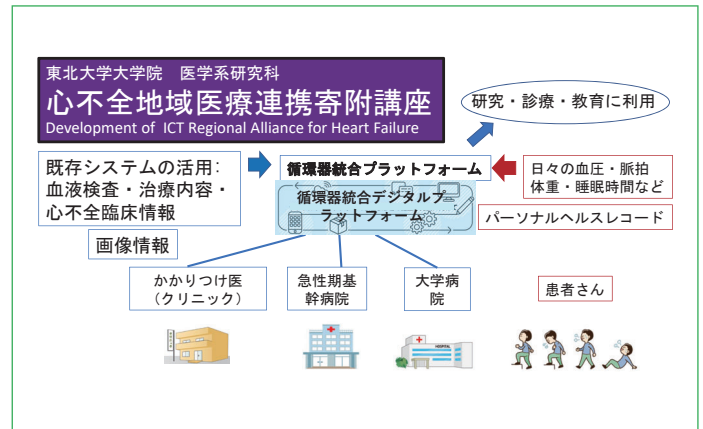
循環器内科 急患ホットライン 080-2801-1810 (常時受付)

患者さんのご紹介・ご相談は：☎ 022-717-7153 (医局) / 7156 (FAX) / 7728 (外来) / 7786 (病棟)
本誌「HEART」へのご意見・ご質問は：✉ kikanshi@cardio.med.tohoku.ac.jp
当科HP URL： <https://www.cardio.med.tohoku.ac.jp/2020/jp/> 公式Twitter： https://twitter.com/cardio_tu

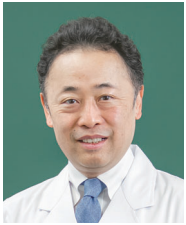
心不全地域連携寄付講座

循環器医療を取り巻く地域医療環境は、病院機能の分化、医療ICT化推進、遠隔診療の導入など大きな変革期を迎えています。複雑化するニーズに対して柔軟かつ効果的に対応し持続可能な循環器医療の新たな連携システムが求められています。循環器疾患の中でも「心不全」の患者数が急激に増加しており、その発症および重症化の予防は極めて重要です。心不全診療では、薬物・非薬物治療の選択肢が増え、詳細な検査情報（臨床画像・生理検査・検体検査・検査レポート）・治療情報をリアルタイムで収集・解析してタイムリーに臨床現場にフィードバックすることが求められています。心不全患者では高齢化と併存疾患の多様化という背景があることかた、患者を地域で支えるシステムの構築が課題です。心不全管理という観点からも遠隔モニタリングや、PHR：パーソナルヘルスレコードを活用した在宅管理へのニーズが高まっています。高齢化が進む

宮城県において、東北大学を中心とした関連病院ネットワークを基礎とした心不全症例のデータ収集と共に本邦での新たな心不全診療モデル構築を目指します。

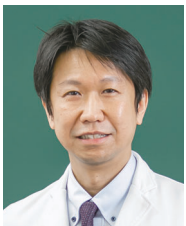


各担当者の紹介



虚血G主任 高橋 潤 (准教授)

虚血グループでは“安全で質の高い医療を提供する”ことを目標に診療しています。急性冠症候群に対して24時間体制で緊急PCIを行っていますのでACSを疑いましたらハートホットライン(080-2801-1810)にお電話ください。慢性冠症候群に対しては冠動脈CT、核医学検査、心カテを組み合わせる包括的に胸痛の原因を検討しています。また、重症大動脈弁狭窄症に対するTAVIや僧帽弁逆流に対する経皮的僧帽弁クリップ術を精力的に行っています。迅速かつ正確な診断・治療を心がけますので狭心症や弁膜症が疑われる患者様をぜひご紹介ください。



心不全G主任 高濱 博幸 (講師)

様々なタイプの心筋症に対して心臓MRI、FDG-PET、各種核医学検査、心筋生検などの検査を組み合わせる診断をしております。また治療選択肢のある2次性心筋症：心サルコイドーシス、心アミロイドーシス、ファブリー病などについても積極的な治療を手掛けています。また心不全については様々な専門的な評価を行い、協議しながら治療を進めています。心臓移植やDestination Therapy(DT)の適応検討を実施しております。これらの治療においても治療時期を逸さないことが重要ですので、適応検討が必要な患者さんにつきましてはご紹介を頂けると幸いです。



不整脈G主任・外来医長 中野 誠 (病院講師)

東北大学病院循環器内科不整脈グループでは、安田教授のご指導の下、不整脈疾患に対する高度医療を精力的に行っております。心房細動に対するカテーテルアブレーションでは、症例の状態を見極めて高周波、バルーン治療を使い分けております。植え込み型除細動器については、経静脈リードを用いた除細動器、皮下植え込み型除細動器のいずれについても多くの経験を有しております。治療適応の症例、治療の判断に迷われる症例も含め、ぜひご紹介ご相談ください。今後とも何卒よろしくご厚意申し上げます。



肺循環G主任 矢尾板信裕 (病院講師)

2021年度より東北大学循環器内科循環グループ主任を務めております矢尾板信裕(やおいたのぶひろ)と申します。当グループは肺高血圧診療と成人先天性心疾患に重きをおいて診療しております。これらの疾患はその特殊性から治療困難と思われがちですが、当グループでは様々な経験とデータを蓄積し、最先端の治療、研究を行ってまいりました。特に肺高血圧症は積極的に治験にも多数参加し、難治性疾患の患者さんにも新たな治療選択肢を提供しております。これらの疾患は早期加療が必須ですので、疑われましたらすぐにご紹介頂ければ幸いです。

循環器内科 急患ホットライン 080-2801-1810 (常時受付)

患者さんのご紹介・ご相談は：☎ 022-717-7153 (医局) / 7156 (FAX) / 7728 (外来) / 7786 (病棟)

本誌「HEART」へのご意見・ご質問は：✉ kikanshi@cardio.med.tohoku.ac.jp

当科HP URL：https://www.cardio.med.tohoku.ac.jp/2020/jp/ 公式Twitter：https://twitter.com/cardio_tu